

平成 18 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 新日鉱ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 清水康行  
 コード番号 5016  
 問合せ先 総務グループ(IR・広報担当)  
 シニアオフィサー - 八牧暢行  
 電 話 03-5573-5123

平成 18 年 3 月期連結業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 2 月 10 日に公表した平成 18 年 3 月期連結業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成 18 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 2 月 10 日発表)	3,000,000	173,000	86,000
今回修正予想(B)	3,030,000	184,000	93,000
増減額(B - A)	(○)30,000	(○)11,000	(○)7,000
増 減 率	1.0%	6.4%	8.1%

<修正の理由>

平成 18 年 3 月期連結業績の売上高は、原油情勢を反映した石油製品価格および金属価格の上昇を主因として、増収となる見込みです。連結経常利益は、原油価格上昇による在庫評価益の増、銅価の上昇等に伴う増益等を主因として、(○)110 億円増加の 1,840 億円となる見込みです。連結当期純利益は、経常利益の増益等により、(○)70 億円増加の 930 億円となる見込みです。

<セグメント別経常利益内訳(平成 18 年 3 月期連結業績予想)>

(単位:億円)

		前回	今回	差異	経常利益差異説明	16 年度実績
石 油 セグメント	売上高	24,000	24,100	(○)100	在庫評価益の増等により増益	19,864
	経常利益	910	960	(○)50		878
資源・金属 セグメント	売上高	4,650	4,830	(○)180	銅価上昇、持分法適用会社の増益等により増益	3,787
	経常利益	645	685	(○)40		464
電子材料 セグメント	売上高	1,030	1,040	(○)10	圧延銅箔・半導体用ターゲット材の増販、在庫評価益の増等により増益	890
	経常利益	80	95	(○)15		77
金属加工 セグメント	売上高	540	550	(○)10	特殊鋼製品の減販はあるが、圧延銅箔等の増販等により前並	543
	経常利益	65	65	-		86
そ の 他 セグメント	売上高	240	240	-		407
	経常利益	30	35	(○)5		25
消 去	売上高	460	460	-		465
	経常利益	1,730	1,840	(○)110		1,481
計	売上高	30,000	30,300	(○)300		25,025
	経常利益	1,730	1,840	(○)110		1,481

<参考> 前提条件(平成 18 年 3 月期連結業績予想)

		前回	今回	差異	16 年度実績
( 共通 )	為替レート(円 / \$)	113	113	-	108
石油 セグメント	原油FOB(\$ / BBL) *	53.3	53.5	(+)0.2	36.6
	パラキレン市況(\$ / t)	966	963	(-)3	889
資源・金属 セグメント	銅価(¢ / lb)	180	185	(+)5	136
	電気銅販売量(千t / 期)	590	590	-	607
電子材料 セグメント	電解銅箔販売量(t / 月)	2,068	2,067	(-)1	2,350
	圧延銅箔販売量 (千m / 月)	3,667	3,765	(+) 98	3,393
	ITOターゲット販売量 (t / 月)	26.5	26.0	(-)0.5	19.7
金属加工 セグメント	伸銅品生産品販売量 (千t / 期)	37	37	-	35
	特殊鋼生産品販売量 (千t / 期)	5	5	-	10
	高機能材比率(%)	43%	43%	-	30%

\* 原油FOBは、ドバイスポットベース

以 上